報道資料

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和４年 10 月３日
消　　防　　庁

「令和５年度危険物安全週間推進標語」及び「令和４年度危険物事故防止対策論文」の募集

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図り、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、「令和５年度危険物安全週間推進標語」及び「令和４年度危険物事故防止対策論文」を募集します。

１　令和５年度危険物安全週間推進標語

消防庁では、毎年６月の第２週を「危険物安全週間」とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しています。この「危険物安全週間」を推進し、危険物の保安に対する意識の高揚を図るため、「危険物安全週間推進標語」を募集します。

募集期間　令和４年 10 月３日（月）～ 令和４年 12 月 12 日（月）

募集要項　どなたでも応募できます。詳細は別添１を御覧ください。

表　　彰
- 最優秀作　消防庁長官賞及び副賞（20 万円）＜１点＞
- 優　秀　作　全国危険物安全協会理事長賞及び副賞（10 万円）＜１点＞
- 優　良　作　記念品＜10 点＞

※最優秀作は危険物安全週間推進ポスター等に活用する予定です。令和５年度のポスターモデルは、北海道北見市常呂町を拠点として活動する女子カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」を予定しています。

２　令和４年度危険物事故防止対策論文

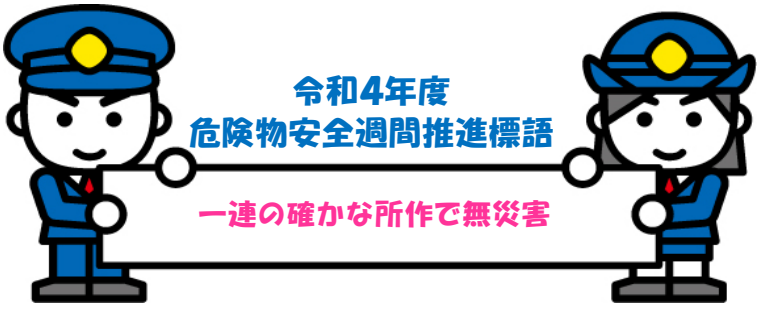
令和３年中の危険物施設における事故発生件数は 646 件と、引き続き高い水準で推移しており、危険物関係団体・業界や消防関係行政機関では、事故の発生防止に積極的に取り組んでいます。このような危険物の事故防止対策を推進するため「危険物事故防止対策論文」を募集します。

募集期間　令和４年 10 月３日（月）～令和５年１月 31 日（火）

募集要項　どなたでも応募できます。詳細は別添２を御覧ください。

表　　彰
- 消防庁長官賞　賞状及び副賞（20万円）＜２編以内＞
- 危険物保安技術協会理事長賞　賞状及び副賞（10万円）＜２編以内＞
- 奨励賞　賞状及び副賞（２万円）＜若　干　名＞

※危険物安全週間推進標語及び危険物事故防止対策論文各賞の表彰式は、危険物安全週間中に東京で開催される危険物安全大会において行う予定です。



連絡先　消防庁危険物保安室
竹村課長補佐
小川係長、田部事務官
TEL　03-5253-5111(代表)
TEL　03-5253-7524(直通)
FAX　03-5253-7534

令和5年度　危険物安全週間
推進標語の募集

危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するため、毎年6月の第２週は危険物安全週間とされています。

この週間の行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集します。

なお、最優秀作は危険物安全週間推進ポスターに活用する予定です。

令和５年度のポスターモデルは、北海道北見市常呂町を拠点として活動する女子カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」を予定しています。

ロコ・ソラーレ

応募方法

●Webによるものとします。
- 1送信につき標語1点とします。
- Web以外での応募や入力事項に不備がある場合は無効とします。

URL　https://www.zenkikyo.or.jp
（パソコン、スマートフォン、タブレット、携帯電話から応募可能です。）
- 応募作品は未発表のものに限ります。

応募資格

どなたでも応募できます。

締切

令和４年12月12日（月）17時まで

賞

最優秀作　1点　消防庁長官賞と副賞20万円
優秀作　1点　全国危険物安全協会理事長賞と副賞10万円
優良作　10点　記念品

＊副賞と記念品は危険物安全週間推進協議会からお渡しします。
＊入選された場合はご本人に通知するとともに、消防庁及び（一財）全国危険物安全協会のホームページや関係新聞・広報誌等に作品とお名前及びお住まいの都道府県・市区町村名を発表いたします。
＊入選作品の著作権は主催者に帰属するものとします。

選考方法

関係行政機関・学識経験者等による標語審査委員会の厳正な審査によって行います。

問い合わせ先

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目1番19号　ヤクルト本社ビル15階
（一財）全国危険物安全協会内　**危険物安全週間推進協議会事務局**
TEL　03-5962-8921

令和４年度危険物安全週間推進ポスター

危険物とは

消防法で定められているもので、一般的に次のような危険性を持った物品をいいます。

1. 火災発生の危険性が大きい
2. 火災拡大の危険性が大きい
3. 消火の困難性が高い

＊私たちの身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料等があります。

主催：消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人 全国危険物安全協会

このリーフレットは危険物安全週間推進協議会が制作しています。

危険物安全週間について

目　　的

今日、石油類をはじめとする危険物は、事業所等において幅広く利用されるとともに、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性は益々増大しています。

このため、事業所等における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の皆さまに対して危険物に関する意識の高揚と啓発を図ることとしたものです。

期　　間

毎年６月の第２週（日曜日から土曜日までの１週間）
令和５年は、６月４日から６月10日まで

行　　事

○ 安全推進のための講演会、研修会等の開催
○ 危険物の安全に関する標語募集
○ 各種消防防災訓練等の実施
○ 危険物保安功労者、優良危険物関係事業所等の表彰
○ 危険物に関するポスター・パンフレットの配布等各種広報、啓発活動
○ その他

推 進 団 体

危険物安全週間推進協議会

消防庁
都道府県
市町村
全国消防長会（消防本部・消防署）
（一財）全国危険物安全協会
（一財）消防試験研究センター
危険物保安技術協会
石油連盟
全国石油商業組合連合会
電気事業連合会
（一社）日本化学工業協会
日本ガソリン計量機工業会

過去の推進標語（最優秀作品）

年度	標語	ポスターモデル	年度	標語	ポスターモデル
平成2年度	“まさか”より“もしも”で守ろう 危険物	日陰 温子	平成19年度	危険物目指せ無事故のMVP	井口 資仁
3年度	危険物いつも本番待ったなし	武　豊	20年度	安全へ確かなスマッシュ保守点検	潮田玲子/小椋久美子
4年度	心・技・知・危険物には真剣勝負	三浦 知良	21年度	安全は 意識と知識と 心掛け	福原　愛
5年度	危険物その時その場が正念場	古賀 稔彦	22年度	危険物 事故は瞬間 無事故は習慣	根本 美緒
6年度	一瞬のすきも許さぬ 危険物	松永 成立	23年度	危険物無事故のゴールは譲れない!	川島 永嗣
7年度	確実な 攻守がきめての 危険物	羽生 善治	24年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害	田中 将大
8年度	危険物 むき合う心 いざ集中	沢松奈生子	25年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔	宮間 あや
9年度	気を抜くな 扱う相手は 危険物	平尾 誠二	26年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害	森田理香子
10年度	安全は 日々の気持ちの 積み重ね	芹澤 信雄	27年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい	遠　藤
11年度	危険物 一手先読む 確かな点検	梅沢由香里	28年度	危険物 決めろ無事故の ストライク	上野由岐子
12年度	危険物 守りのかなめは 保守点検	古田 敦也	29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる!	白井 健三
13年度	危険物 めざすゴールは 無災害	田中 雅美	30年度	この一球届け無事故へみんなの願い	上地 結衣
14年度	危険物 小さな油断も イエローカード	フィリップ・トルシエ	令和元年度	無事故への 構え一分の 隙も無く	清水 希容
15年度	危険物 無事故の主役は あなたです	米倉 涼子	2年度	訓練で　確かな信頼　積み重ね	藤田菜七子
16年度	危険物 ゆるむ心の 帯しめて	谷　亮子	3年度	事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム	リーチ マイケル
17年度	危険物 かさねる無事故の 金メダル	野口みずき	4年度	一連の確かな所作で無災害	村川 春圭
18年度	自主点検 欠かさぬあなたに グランプリ	佐藤 琢磨			（敬称略）

プライバシー保護及び個人情報の取り扱いについて

＊インターネット標語応募の申し込みサイトについては、プライバシー保護の為SSL暗号化通信に対応しております。
＊ご応募いただいた中での個人情報は、厳重に保管・管理し、入選等についてのご連絡にのみ使用させていただきます。

◇　令和４年度　◇

危険物事故防止対策論文募集

消防庁の統計によると、令和３年中の危険物施設における事故発生件数は６４６件で、これは、平成元年以降で最も事故が少なかった平成６年と比較すると、危険物施設は減少しているにも関わらず、約２倍に増加しています。

このようなことから、今後も事故防止対策に取り組んでいく必要があり、安全で快適な社会づくりに向けて、危険物の製造、貯蔵、取扱い、運搬に係る事故防止を図ることを目的として、論文を募集します。今年度から主テーマを設けることとし、今回のテーマは『危険予知活動に関するもの』といたします。なお、危険物に係る事故防止や安全対策など、普段行っている身近な行動に関するものも引き続き幅広く受け付けますので、皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

論文のテーマ

1. 令和４年度の主テーマ
「危険予知活動(KYK)に関するもの」
2. 危険物に係る事故防止や安全対策に関するもの。

応募資格　特に制限はありません。どなたでも応募できます。

応募締切　***令和5年1月31日（火）必着!***

選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

賞

消防庁長官賞	賞状及び副賞（２０万円）	＜２編以内＞
危険物保安技術協会理事長賞	賞状及び副賞（１０万円）	＜２編以内＞
奨励賞	賞状及び副賞　（２万円）	＜若 干 名＞

※ 副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

受賞の表彰式は、危険物安全週間（令和5年6月の第2週）中に東京で開催される、危険物安全大会において行います。

応募方法

① 論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内等で発表された場合は応募可能とします。（一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。）受賞論文は、危険物保安技術協会のホームページに発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。また、著作権等の問題を生じないようご留意ください。

② Ａ４(字数換算：１ページあたり 40 字×40 行程度) １枚以上１０枚以内程度としてください。なお、図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をＡ４(1 ページあたり 1,600 字程度)で行い、全体を１０枚相当分以内程度としてください。

記入例は、ホームページ（http://www.khk-syoubou.or.jp/guide/paper.html)をご確認ください。

③ 論文の概要を添付してください。

④ 論文は、「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）」及び受賞論文発表時に明記する勤務先等がある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先（E-mail 可）までお送りください。

⑤ 共同で取り組んでいる活動の場合には、連名の応募も可としますが、代表者が分かるように記載ください。

⑥ 論文は、返却いたしません。

あて先及びお問い合わせ先

危険物保安技術協会　事故防止調査研修センター
〒105－0001
東京都港区虎ノ門4－3－13　ヒューリック神谷町ビル
Tel 03－3436－2356　Fax 03－3436－2251
http://www.khk-syoubou.or.jp/

主　催　消防庁、危険物保安技術協会

協　賛　全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会、石油化学工業協会、石油連盟
電気事業連合会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会
公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会（順不同）

制作：危険物保安技術協会